



パイプオルガン工房ミュールアイゼンのホームページへ、ようこそおいで下さいました！
この日本語サイトでは、当工房と抜粋した幾つかのパイプオルガンをご紹介します。
その他英語とドイツ語でもより多くのコンテンツがございますので、どうぞご覧下さい。
皆様からのお問い合わせもお待ちしております。お気軽にどうぞ！

私どもの工房は1986年に創立されました。私たちは、有限会社ミュールアイゼンオルガン工房というパイプオルガンを製作する会社なのですが、26人のマイスター、職人、見習い総勢26人が調和したチームワークで働いています。パイプオルガンが総合的な芸術作品として造られる過程において、チームが醸し出すハーモニーは、とても大事なことだと考えています。

私たちが理想としている楽器の響きを地理的な関係と位置付けることは容易ではありません。強いて言ってみれば、南ドイツの伝統に結ばれている、とも言えるでしょうか。しかし何をおいても、空間と響きがお互いに及ぼす関係を研究しつくした結果としての、比類のないミュールアイゼンとしての響き、それが私たちの響きです。技術的には、メカニカルアクションの楽器の製作を重要なことだと思っており、特に、パイプオルガンの弾き易さを第一にしています。適切な材質の選択を含めた緻密な設計と精巧な職人の技が、繊細なタッチを伝え、演奏をしやすくします。オルガンの全ての部品一つ一つが私たちの求める高い機能性、耐久性、そして美的要素に適合しなければなりません。

又、パイプオルガンは教会建築の一部でもあります。個々の教会に合わせたデザインは教会建築と融合しなければなりません。

ミュールアイゼンオルガン工房では今までに、一段鍵盤の小規模な楽器から交響的な三段、四段、五段の大オルガンが造られました。そして今も、新しい楽器が工房では造られています。

そして、パイプオルガンの新築の他にも、19、20世紀に建造された楽器の修復作業を多く手掛けています。全てのトラッカーシステムに精通し、楽器の個性的な響きを最大限に生かす私どもの技術は、自信を持ってお勧めできるものです。

又、調律やメンテナンス、オーバーホール、クリーニング等も、私たちが細心に、入念に行う業務分野であります。

新フィルハーモニー ブダペスト
92ストップ
5段鍵盤
2006年完成



この5段鍵盤の楽器の音響的、そして技術的なスケールは近代におけるハンガリーのオルガン史にとって全く新しいものとなっただけではなく、私たちの工房にとりましても新しい課題へのチャレンジとなりました。エクセレントな弾きごちのメカニカルアクション、革新的な技術によるストップの操作が伝統のある技術で造られました。音色はドイツロマン派オルガンとフランスのロマン派オルガンの長所を統合した上、バロック的な要素で補われています。これは様式をコピーしたものではなく、異なる時代の音色を意識的に融合したものです。

シュティフト教会 シュトゥットガルト
84ストップ
4段鍵盤
2004年完成



このオルガンは製作の企画当初から、演奏者にとっても聴衆にとっても同様にインスピレーションを与えるような特性、そして比類のない響きを第一に優先されて創られました。教会音楽家、教会信徒、建築家、そして私たち工房全てが大きな期待を寄せた楽器であり、その期待通りに完成しました。2004年8月の完成以来典礼においてもコンサートにおいても全国から集まる演奏者からも聴衆からも、楽器の本性、即ち「感性に響く楽器」が認識されています。

アマンドゥス教会 バード ウルアッハ
19ストップ
2段鍵盤
2001年完成



ゴシック建築の傑出した例としてバード
ウルナッハのアマンドゥス教会は州の歴史的建築芸術の中でも特別な位置を占めています。
オルガンのケースは歴史的に重要とされている内陣の様式に相応しいものでなくてはなりません。又、外見に相応な響きを期待させるものでなくてはなりませんし、オルガンの響きも外見に見合うものでなくてはなりません。
外面の形成は、オルガン建築芸術の中でも孤立した要素ではなく、空間、音楽そしてオルガン建築技術が総体的に織り込まれたシンテーゼでもあるのです。
比較的小幅なオルガン下部には演奏台、そしてブルストヴェルクが配置され、その上部には上昇するような尖塔の中にハウプトヴェルクがあります。この楽器はシュヴァルベンネスト（スバメの巣のように壁に吊られているオルガニスト席）に設置されており、高さは7メートル半にも及びます。

ハウスオルガン ミラー博士 シュタイネンブロン
10ストップ
2段鍵盤
2007年完成



この楽器を設計する際の課題は、いかに狭い場所で空間の高さを最大限に使い（Prestant 8フィート Dを開管でフロントパイプとして使用）リビングに違和感なく調和させるかということでした。